



令和4年度地域発元気づくり支援金(2次募集) 【南信州地域】20事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、選定会議構成員の意見を参考に、下記のとおり内定しました。

(単位:千円)

事業区分別

事業区分	内定状況	
	件数	支援額
1 地域協働の推進	2	4,104
2 保健、医療、福祉の充実	0	0
3 教育、文化の振興	5	9,075
4 安全・安心な地域づくり	1	924
5 環境保全・景観形成	3	3,152
6 産業振興、雇用拡大(小計)	7	13,740
ア 特色ある観光地づくり	4	9,705
イ 農業の振興と農山村づくり	0	0
ウ 森林づくりと林業の振興	0	0
エ 商業の振興	0	0
オ その他	3	4,035
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	2,940
合計	20	33,935

県全域又は地域ごとに重点的に推進するテーマ別※

重点テーマ区分	内定状況		
	件数	支援額	
県	地域防災力の向上	0	0
	2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進	1	457
南信州地域	広域観光の推進	2	4,679
	地域の特色ある産業の振興	4	7,360
	移住・定住、つながり人口づくりの促進	0	0
	伝統芸能の継承	2	5,219
	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進	4	8,232
	竹の利活用の推進	2	2,695
	若者のUIJターン就業の促進	1	1,701
合計	16	30,343	

(※ 重点テーマ非該当事業数 4 3,592)

申請者区分別

申請者区分	件数	支援額
市町村	6	9,715
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	14	24,220
合計	20	33,935

- 2次募集では、23件の申請(要望額 3,803万3千円)がありました。
- 選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をしております。

この取組は、しあわせ信州創造プラン2.0「南信州地域計画」の地域重点政策「豊かな自然・文化と共生し、人と地域が輝く南信州」に基づくものです。

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課
 (課長)柴 潤一 (担当)牧島 聡
 電話 0265-53-0401 (直通)
 0265-23-1111 (代表) 内線 2316
 F A X 0265-53-0404
 E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和4年度 地域発 元気づくり支援金(2次募集)【南信州地域】 内定事業一覧表

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点 テーマ 区分
1	1 地域協働の推進に関する事業	ソフト	一般社団法人太陽学園	地域連携『みんなの教室』夢プロジェクト	地域の子供たち・住民が気軽に足を運べる場を創るための事業を実施 ・BBQや課外レクリエーション活動を行う夢いっぱい夏キャンプの開催 ・バトミントン、ドッジボール、ソフトバレーボールを行う夢いっぱいスポーツ大会の開催 ・コースターやコマづくりに取り組む夢いっぱい課外教室の開催 ①大鍋・ナタ・手斧、バトミントンラケット・ボール等、屋外ストープ・インパクトドライバー・工具収納倉庫等、楽器、プロジェクター・スクリーン、消耗品	484	363	363	
2	1 地域協働の推進に関する事業	ソフト	喬木村	地域づくりの祭典！”美し郷”喬木まつり(仮称)の開催	住民の活動発表の場として、新たなお祭りを地域住民主体で開催 ・村全体を巻き込むため、地域団体等から構成される実行委員会を立ち上げ ・新たに村外からも参加団体を募ってステージ発表を実施 ・新たに中学生が練習から参加する盆踊りを実施 ・住民団体による竹灯籠ワークショップ ・住民が作成した小物等を販売するハンドメイド・フリーマーケットを開催 ①感染予防受付済シール、感染予防周知うちわ、広告費、会場警備費、会場設営費	6,016	3,741	3,741	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進
3	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	山本地域づくり委員会	山本地域資源の保存・魅力再発見・活用事業	山本地区の文化・伝統等の地域資源をデジタルアーカイブ化し、住民による学習活動に役立てるとともに後世に残す事業を実施 ・各地区から選出された山本地域づくり委員会(地域振興部専門部会)による山本の文化財、史跡、自然環境などを調査し、優先して記録・継承すべき地域資源を「やまもと物語」として定義 ・具体的には、杵原学校、七久里神社とはだか祭り、久米ヶ城跡について、昔を知る住民や関係者から聞き調査を行うとともに、郷土史に詳しい講師と情報収集・整理し、デジタルアーカイブ化 ・経過は広報で住民に周知するとともに、山本地区文化祭で完成映像を活用した住民学習会を実施 ①撮影業務、学習会コーディネーター業務、企画・構成・編集業務	2,024	1,619	1,619	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進
4	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	大鹿村	大鹿歌舞伎映像活用事業	重要無形民俗文化財大鹿歌舞伎の歴史や伝承を映像としてまとめ、地域の学習活動に活用するとともに、魅力を発信するための事業を実施 ・楽屋風景や小中学校での歌舞伎伝承の取組、大鹿歌舞伎を取り扱った映画・ドラマのロケーションなどを交えた映像資料を作成 ・映像資料を活用し、公民館でふるさと学習講座を開催するとともに、小中学校で伝統芸能学習を実施 ・文化交流施設ろくべん館ミニシアターで映像資料を放映し、来館者に魅力を発信 ①映像製作費	1,650	1,320	1,320	伝統芸能の継承
5	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	高森町	Hi-Forest ミュージックフェスタ開催事業	公益財団法人ジェスク音楽文化振興会と連携し、地域の子供たちや住民がホンモノの音楽に触れ、体験できる事業(ミュージックフェスタ)を実施 ・ミュージックフェスタに向け、地域住民・中学生は地元講師の協力の下、合唱・吹奏楽の練習に取り組む ・ミュージックフェスタ期間中は、プロと地域住民・中学生との交流・練習活動を実施 ・町民向けミニコンサートの開催 ①委託料	2,497	1,639	1,639	
6	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト	下條村	匠の技術と伝統の継承・記録化事業	地域の技術・知識の継承を図るため、藁草履や正月飾りの製作に取り組む「匠の会」の新規加入者を増やす事業を実施 ・匠の会が持つ伝統技術を映像化・マニュアル化し、保存 ・保育園児、保護者、シニア世代など様々な年代の地域住民を募り、「多世代型交流 草履作り体験会」を開催 ・老若男女問わず楽しめる布草履づくりワークショップを開催し、地域住民の伝統技術への関心を高める ・村の「文化の祭典」イベント時に、匠の会のブースを設け、体験会で作成した草履や匠の会の製作物を展示し、地域住民に匠の会の現状や活動を周知するとともに、新規会員を募集 ①布草履制作キット、撮影・編集委託料、マニュアル製本費	767	598	598	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進
7	3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト・ハード	下條村歌舞伎保存会	下條歌舞伎300年記念事業プロジェクト	下條歌舞伎300年を記念し、下條歌舞伎の知名度向上を図るとともに、住民に下條歌舞伎を身近に感じてもらう事業を実施 ・下條歌舞伎プロモーション動画を作成し、県内外に情報発信 ・大道具を製作するワークショップを開催 ・下條歌舞伎定期公演で、舞台装置や大道具を扱う裏方スタッフを募集・体験 ・イラスト書道家と全氏とのコラボ動画を制作 ①プロモーション委託費 ②舞台製作委託費	4,975	3,899	3,899	伝統芸能の継承
8	4 安全・安心な地域づくりに関する事業	ハード	泰阜村	冬季における安心・安全な道路整備事業	泰阜村内の降雪・凍結時の除雪・融雪剤散布作業が間に合わない道路について、地域住民の協働により整備ができる仕組みを構築 ・地区を通じて、優先して整備が必要な道路の洗い出し及び順位付けを実施 ・降雪・凍結時には、住民自ら融雪剤散布機を搬出・操作し、融雪剤を散布 ②凍結防止剤散布機	1,386	924	924	

令和4年度 地域発 元気づくり支援金(2次募集)【南信州地域】 内定事業一覧表

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点 テーマ 区分
9	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト・ハード	特定非営利活動法人南信州クラブ	竹林整備から竹紛の活用を促進する事業	地域の課題である放置竹林を資源化し、竹林整備を促進するための事業を実施 ・ 竹林所有者は、伐採した竹を当法人まで持ち込み(一部当法人が伐採・運搬)、竹パウダー化 ・ 当法人は、竹パウダーを土壌改良剤として地域の有機栽培農家等にPRするとともに、無料配布(余った竹パウダーは、業者に引き渡し、肥料化を図る) ・ 2年目以降に竹を一定額で引き取り、竹林所有者の竹林整備意欲の向上を図る ①電動チェーンソー、のぼり旗、チラシ作成費 ②竹破砕機	1,595	1,202	1,202	竹の利活用の推進
10	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト	ZORIYA	～布ぞうりを通じて～サステイナブル発信プロジェクト	焼却処分される廃棄衣料をリユースした布ぞうり教室を開催し、ゼロカーボン・SDGsの実現に向けた地域の意識を高めるため、次の事業を実施 ・ 地域住民に対し、廃棄衣料による布ぞうり制作教室を開催するとともに、ゼロカーボン・SDGsへの学習活動を行う ・ 教室の参加者は、パンフレットを作成・配布して地域から募集 ・ 英語語に対応したパンフレットを作成して環境問題に関心が高いフランス・カナダに活動を紹介し、その反響を地域に紹介することで、参加者・地域への啓発効果を高める ①パンフレット作成費、講習用冊子代、布ぞうり材料費	571	457	457	2050ゼロカーボンに向けた取組の推進
11	5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト・ハード	高森町	新たな竹の有効活用事業	住民に放置竹林の現状に関心を持ってもらい、竹林整備を促す事業を実施 ・ 地域住民に無償で破砕機を貸し出す仕組みを構築 ・ 町が別事業で取り組む「流しそめんギネス記録更新」チャレンジで、放置竹林から切り出した竹を活用するとともに、各地区で放置竹林の確認・整備に取り組む。併せて、破砕機の貸出・補助制度の周知を図る。 ・ 伐採した竹の竹パウダー化し、使い捨て食器の原料の一部に利用するとともに、使い捨て食器をたかもりまるごと収穫祭で町民に使用してもらい、竹利用の啓発に取り組む。 ①啓発用竹容器購入代 ②竹粉破砕機、破砕竹回収用パーツ、細目スクリーン	2,158	1,493	1,493	竹の利活用の推進
12	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト・ハード	一般社団法人南信州山岳文化伝統の会	南アルプス最南部山岳遭難防止対策事業	遭難すると死亡・行方不明になる確率が高い南アルプス地域に、IT技術を活用した山岳遭難防止対策を導入し、安心安全な山岳高原観光地づくりに取り組む。 ・ IT技術を活用した山岳遭難防止・遭難者探知ツールの開発・導入 ・ 登山道入り口に相談所を設け、登山客にシステム及び危険個所の案内を実施 ・ 地元の山岳関係者向け研修会を開催するとともに、相談員として相談所に配置 ・ システムとドローンを使った遭難場所早期探知訓練を地域の山岳関係者と実施 ①システム構築費、チラシ作成費、謝礼、備品費 ②ドローン	2,312	1,231	1,231	広域観光の推進
13	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト・ハード	特定非営利活動法人 七和の会	里山観光資源を活かした体験観光事業による地域振興	地域の農業、里山、景観等の地域資源を活用した体験型観光産業の振興に取り組む ・ 外部講師を招き、地域住民が体験型観光事業のノウハウ等を学ぶ講習会を開催 ・ きのことやし柿等を活かした里山体験モニターツアーを実施 ・ 受入拠点の機能を強化するとともに、地域づくり委員会と連携し、地域一体となって体験型観光を展開 ①講師費用、講師交通費、募集告知費、参加費用 ②トイレ修繕、シャワーブース・ミニキッチン設置	5,891	4,423	4,423	地域の特色ある産業の振興
14	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト・ハード	大鹿村観光協会	サイクリングによる観光産業の活性化事業	サイクリングを通し、村民が大鹿村の魅力を再発見するとともに、「自転車による地域活性化」に取り組むための事業を実施(2年目) ・ 福島晋一氏による「地域住民とサイクリストによる村づくり講演会」や「走行講習会」の開催 ・ 住民と協働してE-MTB用の新コースの造成に取り組む ・ 村民を中心としたジオライドツアーの実施 ・ 村民ガイドの養成 ・ 住民によるサイクリングコース上のトイレ・給水スポットの提供 ①パンフレット製作費、自転車備品、講演会・講習会謝礼 ②アシスト自転車(E-MTB)、自転車用工具	4,507	3,448	3,448	広域観光の推進
15	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(ア 特色ある観光地づくり)	ソフト	下伊那郡西部3か村地域振興協議会	南信州フォレストパーク構想事業(地域特産品販売促進事業)	国道153号線沿いに点在する観光資源をまとめ、一つのエリアとしてブランド化を図るための事業を実施 ・ 南信州フォレストパークのキャッチコピーや共通ロゴの決定 ・ SNSで「木になるカード」で使われた木のフォトコンテストを開催 ・ 住民がSNS(インスタグラム)を活用したPRを学ぶセミナーの開催 ・ 3村の魅力発見のため、3村の名所等を巡り、実際に情報発信に取り組むワークショップを開催 ①企画・ディレクション、コンセプト・ネーミング・コピー制作、ロゴマーク制作、ポスターデザイン制作・印刷、講師料	754	603	603	地域の特色ある産業の振興

令和4年度 地域発 元気づくり支援金(2次募集)【南信州地域】 内定事業一覧表

単位：千円

番号	事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点 テーマ 区分
16	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(その他)	ソフト	公益財団法人南信州・飯田産業センター	南信州地域資源活用商品開発オープンイノベーションプラットフォーム構築事業	地域資源を地域自ら活用し、付加価値の高い地域産品・コンテンツを創出するため、次の事業を実施 ・ 地域資源を積極的に開示するオープンイノベーションの考え方を広め、地域資源活用の機運を高めるシンポジウムを開催 ・ 地域に顧客目線を身に付けてもらうためのマーケティングマネジメント伴走支援を実施 ・ 地域資源の活用に関心がある集落・地域・事業者等を引き合わせるビジネスマッチングイベントを開催 ・ 地域がマーケティング、共同開発、契約・知的財産管理等を学ぶセミナーを開催 ①チラシ印刷費、動画広告費、資料印刷費、シンポジウム・セミナーの講師謝礼・旅費等	2,158	1,726	1,726	地域の特色ある産業の振興
17	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(その他)	ソフト	回帰促進協議会	インターンシップアシスト事業	南信州地域へのUターン就職を促すため、地域内外の学生とともに、地域のインターンシップ活動を活性化させる事業を実施(3年目) ・ 企業に対し、学生が気軽に参加できる短時間・オンラインの「お手軽インターンシップ」への参加を促す ・ 企業に学生のリアル、ITによる情報発信等への理解を促す支援活動を実施 ・ 企業のインターンシップ情報を集約発信することで、学生に地域のインターンシップ情報を分かりやすく提示 ・ SNS等を活用するとともに、学生が相談しやすいよう配慮した情報発信を展開 ①業務委託費、印刷製本費、消耗品費、輸送費	2,324	1,701	1,701	若者のUターン就業の推進
18	6 産業振興、雇用拡大に関する事業(その他)	ソフト・ハード	NPO法人ツメモガキ	伝統食「柚餅子」でつなぐ天龍村坂部地区の伝統	天龍村坂部地区に伝わる伝統食「柚餅子」を未来に繋げるとともに、関係人口づくりに寄与するための事業を実施 ・ 柚餅子づくりとともに、住民との交流を楽しめる「柚餅子づくり体験ツアー」を実施 ・ 柚餅子づくりに関心がある地域住民を集めた「柚餅子づくり体験」を実施 ・ 村内小学校で柚餅子づくり授業を実施 ①施設使用料、講師謝礼、宣伝費、印刷費、食材費、軟水器、機材運搬費 ②蒸し器、給水・ガス管工	895	608	608	地域の特色ある産業の振興
19	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	飯田商工会議所 青年部	丘の上カップリング推進事業	結婚を希望する男女をカップリングし、結婚に繋げるため、次の事業を実施 ・ 恋愛セミナーを開催し、参加者に自分磨きに取り組んでもらう ・ 愛郷心を育むため、「結」をテーマに伝統産業である水引を使ったワークショップを開催 ・ 参加者は3か所程度の飲食店をまわり、その後1つの会場に集合し、男女のカップリングを図る ①講演費、ワークショップ材料・講師謝礼、ポスター・チラシ製作費、会場費、広告掲載費、広告デザイン費、チケット製作費	888	666	666	
20	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	ソフト	高森町飯田線開通100周年記念事業実行委員会	高森町飯田線開通100周年記念事業	高森町内4駅の開業100周年を記念し、飯田線の歴史を振り返るとともに、魅力を再発見するイベントを開催 ・ 飯田線を活用しながら町内の名所を巡るウォーキングイベントを実施 ・ 秘境駅の散策や飯田線クイズなどのイベントを盛り込んだ貸切臨時列車の運行 ・ 大型プラレールを活用したジオラマや鉄道備品などの展示会を実施 ・ 資料館「時の駅」で飯田線の歴史的な写真や資料に係る特別展 ・ 飯田線に関わる風景や人々の生活・思い出の写真を募集し、「飯田線ふれあいフォトコンテスト」を開催 ・ 地元住民への聞き取りや収集資料を基にした記念誌の発行と住民学習会の実施 ・ 飯田市日赤奉仕団が製作した飯田線に係る紙芝居を小中学校で講演 ・ 記念切符・記念グッズ(クリアファイル、カード、ペーパークラフト)の作成 ①チラシ・ポスター等広告費、貸切臨時列車、鉄道展示会・フォトコンテスト・紙芝居謝礼、記念誌・グッズ作成費	2,948	2,274	2,274	ふるさとを大切にすることを育む取組の促進